

日本保健物理学会「教員等協議会・若手研・学友会」代表者会議（第7回）

日時：令和2年11月20日9時～10時

参加者：教員等協議会：飯本（理事）

若手研：迫田（理事）、廣田（参与）、片岡、廣内、辻、中畠

学友会：仲宗根、小池

概要：

- 保物学会シンポジウム
 - ・90分のプログラム案(タイトル、発表者等)を作成。
 - ・「若手研 OBOG」枠の発表者は？
 - 未定であるが、若手研の設立経緯を知っている方に依頼したい
 - 飯本理事が過去の若手研主査から人選し、依頼する
 - ・司会や総合討論の座長も決める必要がある。若手で選定し依頼する
 - ・学術的な要素があっても良い。例えば嶋田会員が作成した関連学会との相関図など
 - ・若手研・学友会の活動実績を強調してほしい
 - ・「課題と今後の展望」に、若手研・学友会でクローズすべきものと学会全体への働きかけが必要なものとが混在している。若手研・学友会の外からの助言やサポートを期待するものを明確にした方が良い
 - 若手研・学友会の「課題と今後の展望」の枠を5分ずつ削り、浮いた10分で総合討論の前に、学会全体への働きかけが必要な「課題と今後の展望」を示す枠を作るのはどうか。
 - 若手研・学友会から見た学会、学会の課題、学会への意見（例えば安全管理学会との連携の在り方について）を示せば学会からのフィードバックが期待できるし、興味を集める発表になるのではないか。
 - ・総合討論はどのような形式を考えているのか。
 - 若手が示した課題などについて、意見を募ることを考えている。
 - Zoomだと意見が出にくいかもしれないので、若手研メーリングリストで事前に課題を示し、意見を準備してもらうことも良いかもしれない
- 勉強会
 - ICRP Pub.130の輪講形式
 - ・第1回を10月25日に実施。第2回を11月29日に予定。
 - ・第2回以降も事前に各学会で周知する。
- Twitter 企画
 - ・若手で開始し、若手の裁量で運営して良い。実施体制などについてはコミュニケーション

ン委員長（担当理事）の確認を受けること。その後は担当理事がツイート状況をフォローできる状態であれば良い。

- 次回日程

12月中 Zoom（詳細未定）

- ・ 甲斐会長を含む理事メンバー、若手研、学友会との意見交換会を予定（2時間程度）。
- ・ 飯本理事が日程調整をする。

以上